

グローバル・ボンド・ポート (Cコース) / (Dコース)

追加型投信 / 海外 / 債券

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、「グローバル・ボンド・ポート」(Cコース) / (Dコース) は、2019年3月20日に第41期の決算を行いました。

各ファンドは、主にマザーファンドへの投資を通じて、わが国を除く世界主要国の公社債へ投資を行い、信託財産の成長をはかることを目標に運用を行います。

当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2018年9月21日～2019年3月20日

第41期		決算日：2019年3月20日	
第41期末 (2019年3月20日)			
	グローバル・ボンド・ポート (Cコース)	グローバル・ボンド・ポート (Dコース)	
基準価額	10,197円	11,510円	
純資産総額	7,167百万円	10,693百万円	
第41期	騰落率	2.4%	0.8%
	分配金合計	50円	100円

(注1) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。

(注2) △ (白三角) はマイナスを意味しています (以下同じ)。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書(全体版)は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

(受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで)

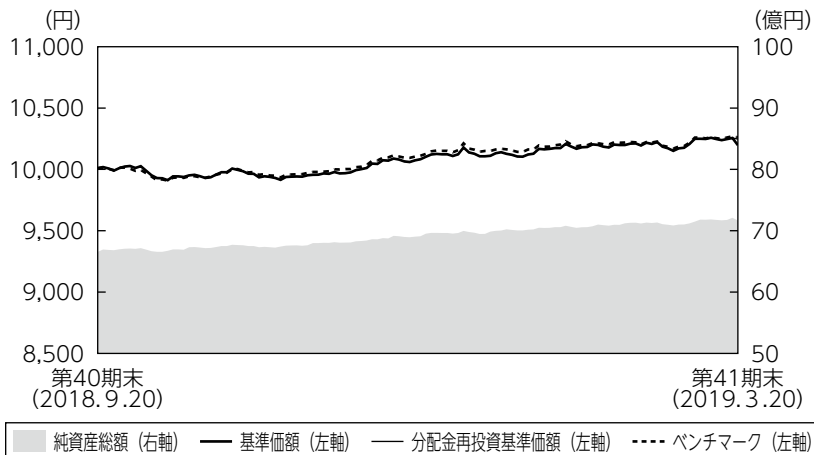
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2 <http://www.am-one.co.jp/>

運用経過の説明

基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額およびベンチマーク（F T S E 世界国債インデックス（除く日本、円ベース、為替ヘッジあり））は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。なお、ベンチマークについては後掲の<当ファンドのベンチマークについて>をご参照ください。

基準価額の主な変動要因

債券市場では、米中貿易摩擦問題に対する懸念の高まりから株式等のリスク性資産が急落したこと、F R B（米連邦準備理事会）の漸進的な利上げ姿勢が後退したこと等を背景に米国債利回りが低下（価格は上昇）し、ドイツ国債も域内経済の減速懸念が強まったこと等から利回りが低下しました。債券市場で国債利回りが低下したことを主因に基準価額は上昇しました。

1 万口当たりの費用明細

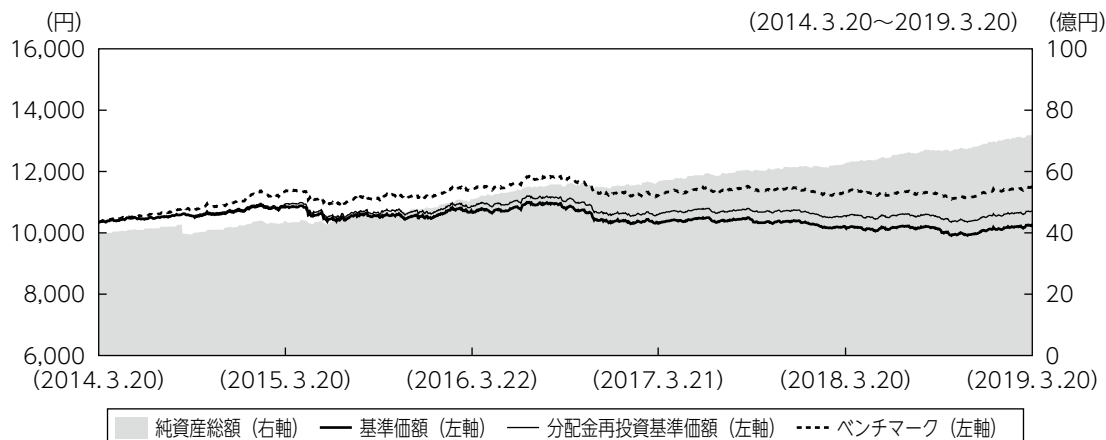
項目	第41期		項目の概要
	(2018年9月21日 ～2019年3月20日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	46円	0.455%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は10,078円です。 投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価 販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 受託銀行分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(投信会社)	(23)	(0.228)	
(販売会社)	(20)	(0.201)	
(受託銀行)	(3)	(0.027)	
(b) その他費用	1	0.011	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
(保管費用)	(1)	(0.010)	
(監査費用)	(0)	(0.002)	
合計	47	0.466	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

最近5年間の基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額およびベンチマーク（F T S E 世界国債インデックス（除く日本、円ベース、為替ヘッジあり））は、2014年3月20日の基準価額に合わせて指数化しています。

	2014年3月20日 期首	2015年3月20日 決算日	2016年3月22日 決算日	2017年3月21日 決算日	2018年3月20日 決算日	2019年3月20日 決算日
基準価額 (分配落) (円)	10,360	10,839	10,666	10,306	10,158	10,197
期間分配金合計 (税引前) (円)	—	100	100	100	100	100
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	5.6	△0.7	△2.5	△0.5	1.4
ベンチマークの騰落率 (%)	—	9.6	0.7	△1.9	0.9	1.5
純資産総額 (百万円)	3,974	4,372	5,081	5,658	6,250	7,167

投資環境

米国債利回りは、資源価格の上昇やF R Bが漸進的な利上げを継続する姿勢を示していたこと等を背景に2018年11月にかけて上昇（価格は下落）基調となりました。しかしその後は、中国の大手通信企業幹部の逮捕等をきっかけに米中貿易摩擦に対する懸念が再度高まり、株式等のリスク性資産が急落したことから、利回りが低下に転じました。ドイツ国債利回りについても、域内の経済成長の鈍化やフランス等での政治不安の高まりを背景に低下しました。

ポートフォリオについて

グローバル・ボンド・ポート（Cコース）は、グローバル・ボンド・ポート・マザーファンドの組入比率を高位に維持することを基本に運用しました。また、対円で為替ヘッジを行い、為替リスクを低減しました。

【通貨別構成比】

		通貨別組入状況		
		組入債券	為替予約・先物	計
北米	USドル	41.0%	△41.1%	△0.1%
	カナダ・ドル	0.0%	0.0%	0.0%
中南米	メキシコ・ペソ	8.3%	△8.4%	0.0%
欧州	イギリス・ポンド	5.3%	△5.3%	0.0%
	デンマーク・クローネ	0.0%	0.0%	0.0%
	ノルウェー・クローネ	0.0%	0.0%	0.0%
	ユーロ	37.5%	△37.8%	△0.4%
	スウェーデン・クローナ	3.0%	△3.0%	0.0%
	ポーランド・ズロチ	3.1%	△3.1%	0.0%
アジア・オセアニア	オーストラリア・ドル	0.0%	0.0%	0.0%
	シンガポール・ドル	0.0%	0.0%	0.0%
	マレーシア・リンギット	0.0%	0.0%	0.0%
アフリカ	南アフリカ・ランド	0.0%	0.0%	0.0%
現金等		1.8%	-	-

(注1) 比率は純資産総額に対する実質的な割合です。

(注2) 現金等は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

● グローバル・ボンド・ポート・マザーファンド

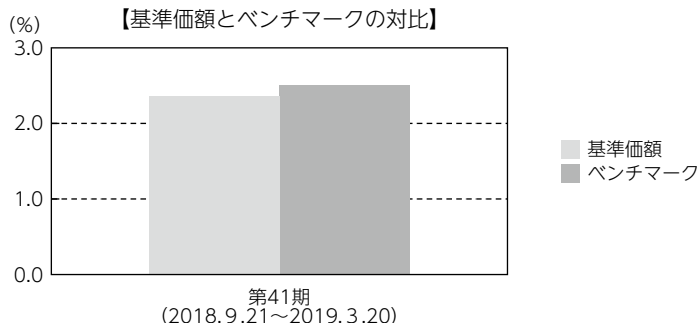
米国債利回りが上昇し、F R Bによる漸進的な利上げの継続は既に利回り水準に織り込まれていると判断したこと、今後は貿易摩擦の影響や米国での減税効果の剥落などから世界経済の下押し圧力が強まってくるとの見通しから、ベンチマーク対比でのデレレーション^{*}長期化戦略を維持し、そのリスク量を調整しました。また、メキシコ、スペイン等の投資比率を引き上げ、アイルランド、ポーランド等の投資比率を引き下げました。

^{*}金利変動に対する債券価格の変動性。

ベンチマークとの差異について

ベンチマークは前期末比で2.5%上昇しました。

グローバル・ボンド・ポート（Cコース）はベンチマークを0.1%下回りました。信託報酬等の運用経費が主にマイナスに寄与しました。なお、債券部分は、ポーランドやメキシコの投資比率を高めとしたことや米国等でデレレーションを長期化していたことがプラスに寄与しました。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

分配金

当期の収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、以下の表の通りとさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	当期
	2018年9月21日 ～2019年3月20日
当期分配金（税引前）	50円
対基準価額比率	0.49%
当期の収益	50円
当期の収益以外	-円
翌期繰越分配対象額	3,816円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

引き続き、グローバル・ボンド・ポート・マザーファンドを高位に組入れることにより、実質的な運用を当該マザーファンドにて行います。また、対円での為替ヘッジを行い、為替リスクの低減をめざします。

● グローバル・ボンド・ポート・マザーファンド

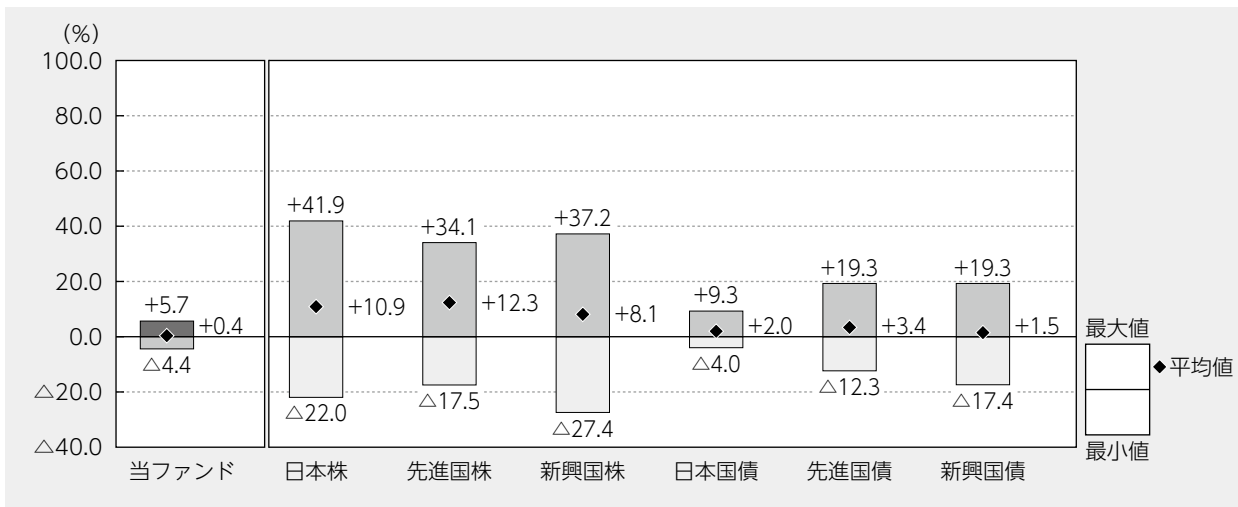
米国経済は、住宅関連指標等の軟化など景気減速の兆候が散見される状況となっています。また米議会も与野党のねじれ状態の中、政策発動の余地は限られていること、F R Bも当面の利上げの休止を示唆していることから国債利回りの上昇余地は限定的と見ています。このことから、デフレーションについては現状の長期化した戦略を基本とし、各国の景気動向や金融政策見通し等を勘案しながら、国別のデフレーションや投資比率の調整を行う方針です。

当ファンドの概要

グローバル・ボンド・ポート（Cコース）

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	1998年12月10日から無期限です。	
運用方針	信託財産の成長をはかることを目標に運用を行います。	
主要投資対象	グローバル・ボンド・ポート（Cコース）	グローバル・ボンド・ポート・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	グローバル・ボンド・ポート・マザーファンド	わが国を除く世界主要国の公社債を主要投資対象とします。
運用方法	「F T S E 世界国債インデックス（除く日本、円ベース、為替ヘッジあり）」を運用にあたってのベンチマークとし、インデックスを上回る成果の実現をめざします。実質外貨建資産については、為替変動リスクの低減をはかるため、原則として全て対円での為替ヘッジを行います。	
分配方針	決算日（原則として3月20日および9月20日。休業日の場合は翌営業日。）に、原則として利子・配当等収益の中から分配する方針です。売買益（評価益を含みます。）等は、基準価額水準、市況動向等を勘案して分配する方針です。分配対象額が少額の場合には、分配を行わない場合があります。	

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



2014年3月～2019年2月

(注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと計算しています。

*各資産クラスの指数

日本株…東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国国債…FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>をご参照ください。

当ファンドのデータ

当ファンドの組入資産の内容 (2019年3月20日現在)

グローバル・ボンド・ポート (Cコース)

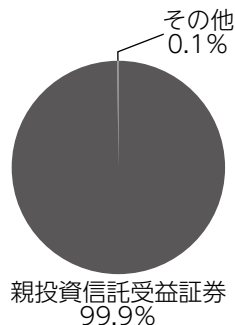
◆組入ファンド等 (組入ファンド数：1ファンド)

	当期末
	2019年3月20日
グローバル・ボンド・ポート・マザーファンド	99.9%
その他	0.1

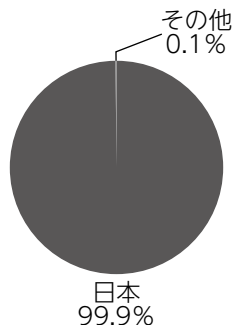
(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

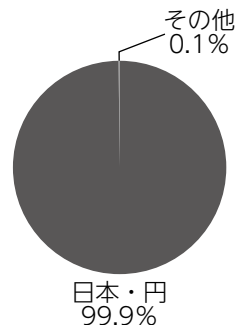
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

(注3) 実質的な組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行っています。

純資産等

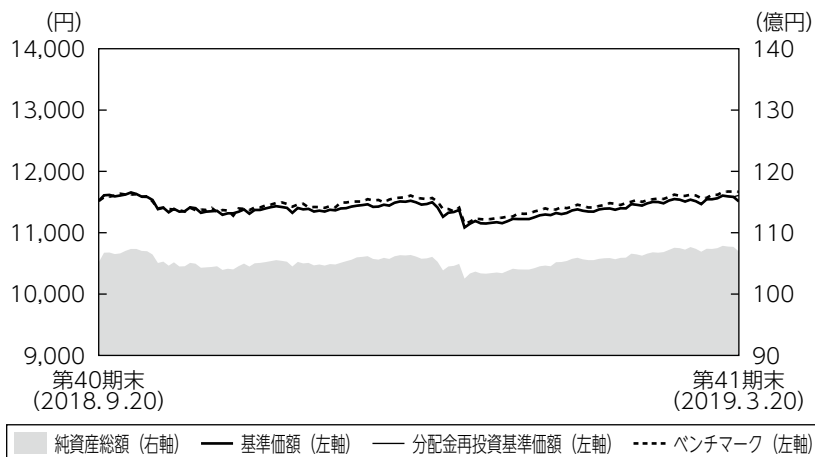
項目	当期末
	2019年3月20日
純資産総額	7,167,258,460円
受益権総口数	7,028,485,727口
1万口当たり基準価額	10,197円

(注) 当期中における追加設定元本額は533,968,335円、同解約元本額は153,440,543円です。

組入ファンドの概要については、19ページをご覧ください。

運用経過の説明

基準価額等の推移



第41期首 : 11,518円
 第41期末 : 11,510円
 (既払分配金100円)
 騰落率 : 0.8%
 (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額およびベンチマーク (F T S E 世界国債インデックス (除く日本、円ベース、為替ヘッジなし)) は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。なお、ベンチマークについては後掲の<当ファンドのベンチマークについて>をご参照ください。

基準価額の主な変動要因

債券市場では、米中貿易摩擦問題に対する懸念の高まりから株式等のリスク性資産が急落したこと、F R B (米連邦準備理事会) の漸進的な利上げ姿勢が後退したこと等を背景に米国債利回りが低下 (価格は上昇) し、ドイツ国債も域内経済の減速懸念が強まったこと等から利回りが低下しました。為替市場では、域内経済の低迷からユーロなどの欧州地域の通貨が対円で下落しました。債券市場で国債利回りが低下したことを主因に基準価額は上昇しました。

1 万口当たりの費用明細

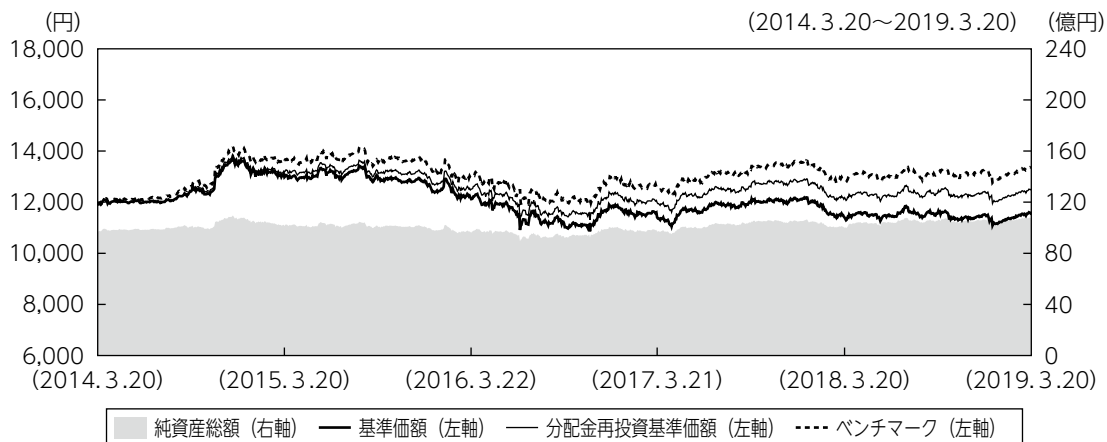
項目	第41期		項目の概要
	(2018年9月21日 ～2019年3月20日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	52円	0.455%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は11,402円です。 投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各种書類の作成、基準価額の算出等の対価 販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 受託銀行分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(投信会社)	(26)	(0.228)	
(販売会社)	(23)	(0.201)	
(受託銀行)	(3)	(0.027)	
(b) その他費用	1	0.013	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
(保管費用)	(1)	(0.011)	
(監査費用)	(0)	(0.002)	
合計	53	0.468	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

最近5年間の基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額およびベンチマーク（F T S E 世界国債インデックス（除く日本、円ベース、為替ヘッジなし））は、2014年3月20日の基準価額に合わせて指数化しています。

	2014年3月20日 期首	2015年3月20日 決算日	2016年3月22日 決算日	2017年3月21日 決算日	2018年3月20日 決算日	2019年3月20日 決算日
基準価額 (分配落) (円)	11,934	12,977	12,117	11,407	11,394	11,510
期間分配金合計 (税引前) (円)	—	200	200	200	200	200
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	10.5	△5.1	△4.2	1.6	2.8
ベンチマークの騰落率 (%)	—	14.0	△4.7	△3.1	2.5	3.7
純資産総額 (百万円)	9,665	10,129	9,612	9,675	9,997	10,693

投資環境

米国債利回りは、資源価格の上昇やF R Bが漸進的な利上げを継続する姿勢を示していたこと等を背景に2018年11月にかけて上昇（価格は下落）基調となりました。しかしその後は、中国の大手通信企業幹部の逮捕等をきっかけに米中貿易摩擦に対する懸念が再度高まり、株式等のリスク性資産が急落したことから、利回りが低下に転じました。ドイツ国債利回りについても、域内の経済成長の鈍化やフランス等での政治不安の高まりを背景に低下しました。

為替市場では、鉱工業生産や景況感などが欧州圏の経済指標に弱いものが目立ったことから主要通貨内で欧州通貨安が進行しました。ユーロについてはフランス等での政局不安も売り材料となりました。英ポンドは、英国のEU（欧州連合）離脱を巡る国内外の協議が続く中、乱高下する展開が続きました。豪ドルは、米中貿易摩擦に対する懸念について過度に悲観的な見方が後退する形となり下落基調は止まりました。

ポートフォリオについて

グローバル・ボンド・ポート (Dコース) は、グローバル・ボンド・ポート・マザーファンドの組入比率を高位に維持することを基本に運用しました。また、為替予約取引を用いて、機動的に通貨の比率を調整する運用を行いました。通貨配分についてはベンチマークに対してユーロのロングポジションと米ドルのショートポジションを軸に機動的なポジション運営を実施しました。

【通貨別構成比】

		通貨別組入状況		
		組入債券	為替予約・先物	計
北米	USドル	41.0%	4.3%	45.2%
	カナダ・ドル	0.0%	2.0%	2.0%
中南米	メキシコ・ペソ	8.3%	△7.5%	0.8%
欧州	イギリス・ポンド	5.3%	1.5%	6.8%
	デンマーク・クローネ	0.0%	0.5%	0.5%
	ノルウェー・クローネ	0.0%	0.2%	0.2%
	ユーロ	37.4%	1.6%	39.1%
	スウェーデン・クローナ	3.0%	△2.6%	0.3%
	ポーランド・ズロチ	3.1%	△2.5%	0.6%
アジア・オセアニア	オーストラリア・ドル	0.0%	2.1%	2.1%
	シンガポール・ドル	0.0%	0.4%	0.4%
	マレーシア・リンギット	0.0%	0.0%	0.0%
アフリカ	南アフリカ・ランド	0.0%	0.0%	0.0%
現金等		1.9%	-	-

(注1) 比率は純資産総額に対する実質的な割合です。

(注2) 現金等は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

● グローバル・ボンド・ポート・マザーファンド

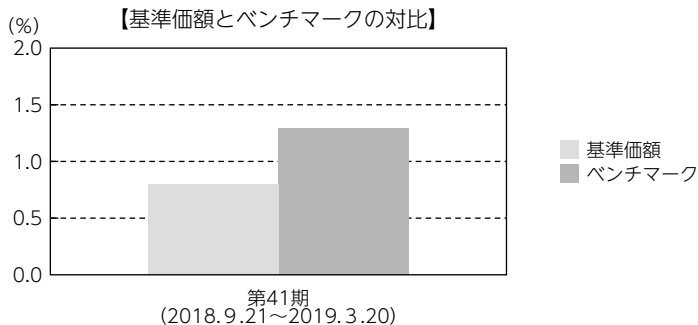
米国債利回りが上昇し、F R Bによる漸進的な利上げの継続は既に利回り水準に織り込まれていると判断したこと、今後は貿易摩擦の影響や米国での減税効果の剥落などから世界経済の下押し圧力が強まってくるとの見通しから、ベンチマーク対比でのデフレーション^{*}長期化戦略を維持し、そのリスク量を調整しました。また、メキシコ、スペイン等の投資比率を引き上げ、アイルランド、ポーランド等の投資比率を引き下げました。

^{*}金利変動に対する債券価格の変動性。

■ ベンチマークとの差異について

ベンチマークは前期末比で1.3%上昇しました。

グローバル・ボンド・ポート（Dコース）はベンチマークを0.5%下回りました。為替戦略におけるユーロのロングポジションと米ドルのショートポジション、信託報酬等の運用経費が主にマイナスに寄与しました。なお、債券部分は、ポーランドやメキシコの投資比率を高めとしたことや米国等でデフレーションを長期化していたことがプラスに寄与しました。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

分配金

当期の収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、以下の表の通りとさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	当期
	2018年9月21日 ～2019年3月20日
当期分配金（税引前）	100円
対基準価額比率	0.86%
当期の収益	86円
当期の収益以外	13円
翌期繰越分配対象額	4,947円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

引き続き、グローバル・ボンド・ポート・マザーファンドを高位に組入れることにより、実質的な運用を当該マザーファンドにて行います。また、為替予約取引を用いて、機動的に通貨の比率を調整します。

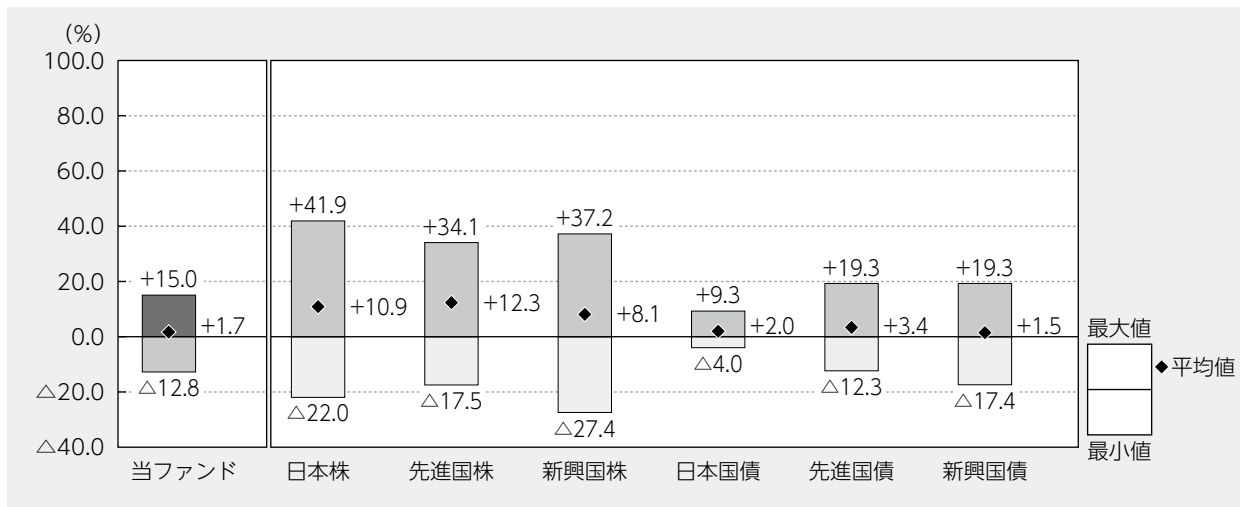
マザーファンドの今後の運用方針については、6ページをご覧ください。

当ファンドの概要

グローバル・ボンド・ポート (Dコース)

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	1998年12月10日から無期限です。	
運用方針	信託財産の成長をはかることを目標に運用を行います。	
主要投資対象	グローバル・ボンド・ポート (Dコース)	グローバル・ボンド・ポート・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	グローバル・ボンド・ポート・マザーファンド	わが国を除く世界主要国の公社債を主要投資対象とします。
運用方法	「F T S E 世界国債インデックス (除く日本、円ベース、為替ヘッジなし)」を運用にあたってのベンチマークとし、インデックスを上回る成果の実現をめざします。実質外貨建資産については、対円での為替ヘッジは行いません。	
分配方針	決算日 (原則として3月20日および9月20日。休業日の場合は翌営業日。) に、原則として利子・配当等収益の中から分配する方針です。売買益 (評価益を含みます。) 等は、基準価額水準、市況動向等を勘案して分配する方針です。分配対象額が少額の場合には、分配を行わない場合があります。	

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



2014年3月～2019年2月

(注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと計算しています。

*各資産クラスの指数

日本株…東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>をご参照ください。

当ファンドのデータ

当ファンドの組入資産の内容 (2019年3月20日現在)

グローバル・ボンド・ポート (Dコース)

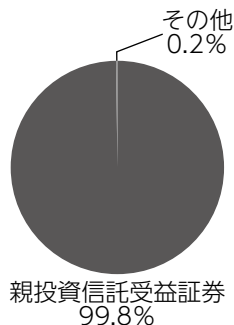
◆組入ファンド等 (組入ファンド数：1ファンド)

	当期末
	2019年3月20日
グローバル・ボンド・ポート・マザーファンド	99.8%
その他	0.2

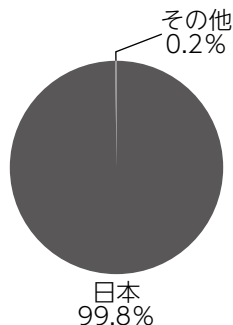
(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

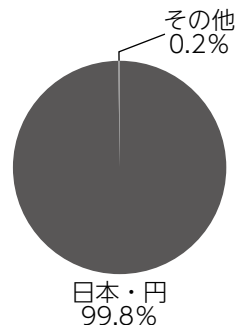
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

(注3) 通貨別配分については、為替予約取引を用いて実質的な通貨の比率を調整しています。通貨別配分に関する詳細な情報等は、運用報告書(全体版)に記載されています。

純資産等

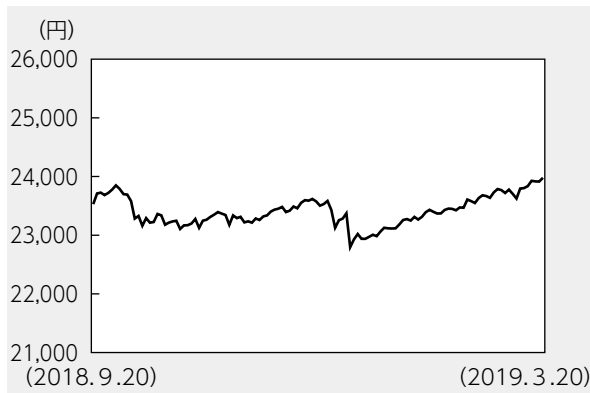
項目	当期末
	2019年3月20日
純資産総額	10,693,316,889円
受益権総口数	9,290,600,928口
1万口当たり基準価額	11,510円

(注) 当期中における追加設定元本額は630,133,916円、同解約元本額は470,250,022円です。

組入ファンドの概要

[グローバル・ボンド・ポート・マザーファンド] (計算期間 2018年9月21日～2019年3月20日)

◆基準価額の推移



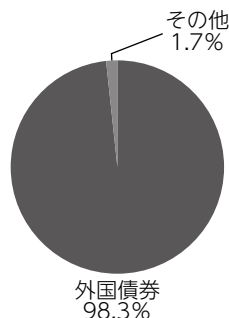
◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
US T N/B 3.125 11/15/28	アメリカ・ドル	9.2%
US T N/B 2.75 02/15/28	アメリカ・ドル	7.0
US T N/B 1.625 10/15/20	アメリカ・ドル	6.5
DEUTSCHLAND 0.5 02/15/26	ユーロ	5.0
US T N/B 2.25 08/15/46	アメリカ・ドル	4.9
US T N/B 2.875 08/15/28	アメリカ・ドル	4.4
US T N/B 2.75 02/15/24	アメリカ・ドル	4.2
US T N/B 2.0 08/15/25	アメリカ・ドル	4.0
SPAIN 0.75 07/30/21	ユーロ	3.7
MEXICAN BONDS 8.5 05/31/29	メキシコ・ペソ	3.7
組入銘柄数	39銘柄	

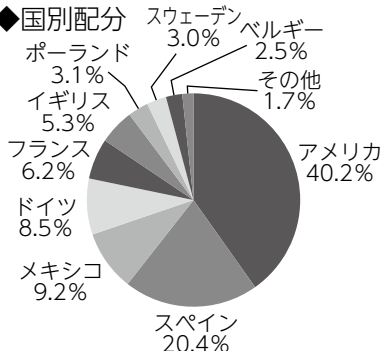
◆1万口当たりの費用明細

項目	当期	
	金額	比率
(a) その他費用 (保管費用)	2円 (2)	0.010% (0.010)
合計	2	0.010

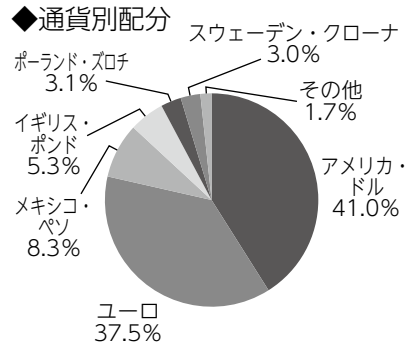
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のもので。

(注2) 1万口当たりの費用明細の金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額(23,407円)で除して100を乗じたものです。なお、費用項目の概要及び注記については2ページ(1万口当たりの費用明細)をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注5) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

(注6) 国別配分は、発行国(地域)を表示しています。また、上位11位以下をその他に含めて集計しています。

(注7) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されています。

<当ファンドのベンチマークについて>

●FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース、為替ヘッジあり)

FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

●FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース、為替ヘッジなし)

FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

- 「東証株価指数 (TOPIX)」は、東京証券取引所第一部に上場されているすべての株式の時価総額を指数化したものです。同指数は、株式会社東京証券取引所 (株東京証券取引所) の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、(株)東京証券取引所が有しています。
- 「MSCIコクサイ・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「MSCIエマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「NOMURA-BPI国債」は、野村證券株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- 「FTSE世界国債インデックス (除く日本)」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
- 「JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド」は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(このページは白紙です)

(このページは白紙です)

